

優良防火対象物として表彰を受けました

15日午後2時、セッション杉並（杉並区梅里1-22-32）で、「防火・防災のつどい（杉並消防署主催）」が開催され、会場であるセッション杉並が優良防火対象物として、消防総監表彰状を授与されました。セッション杉並は、578名定員のホールをはじめ、集会室や工芸室を備えるほか、区民事務所や飲食店も同居する建物ですが、それぞれの施設が連携した防火訓練や施設管理が高く評価されました。

11月9日から15日まで、全国で秋の火災予防運動が実施されています。この運動の一環として、「防火・防災のつどい」が開催されました。東京消防庁管内の平成27年中の火災は、4,433件で平成23年から27年の5年間の平均発生数4,972件と比べ、539件少なくなっています。しかし、火災はちょっとした気の緩みが引き金で、かけがえのない命を奪い、築き上げてきた財産ばかりでなく信頼までも灰にしてしまうものです。こうした火災の危険性を改めて認識し防火に努めるため、区民や事業者などが参加し、つどいは開催されました。

平成元年6月に開館したセッション杉並は、社会教育センターや高円寺地域区民センター、区民事務所、さらに喫茶室を併せ持った複合施設です。約7,600㎡の敷地に、鉄筋コンクリート造の8,000㎡あまりの延床面積を有し、貸室は稼働率が平均60%で、多くの利用者が出入りしています。施設の職員も、区職員や施設の管理委託を担う民間会社の社員など、身分も所属も異なります。しかし、職員間の壁を作らず、同じ施設のスタッフとして、日頃から連絡を密にして管理にあたっていることや法令で定められて、自衛消防訓練などを実施しています。



開館から27年、このような防火・防災の取り組みが高く評価され、消防総監表彰状の授与を受けることになりました。社会教育センター所長は、「これからも、この賞に恥じないよう、安全・安心して利用してもらえる施設管理に努めたい」と決意を新たにしていました。優良防火対象物として、消防総監から表彰状を授与されたのは、セッション杉並および立正佼成会第二団参会館の2団体でした。

【問い合わせ先】

生涯学習推進課社会教育センター：03-3317-6621